

総務経済常任委員会活動レポート

開催日：令和7年11月19日(水)

開催場所：1・2号委員会室

総務部

1 町財政の現状について

中標津町中期財政の見通し（令和8年度～令和12年度）及び令和8年度予算編成方針について説明を受けました。

【主な質疑】

委員：自治体でファンド活用している事例もありますが資金運用の検討は？

担当：運用にはある程度の資金が必要で、資金が潤沢ではない現状では難しいです。

2 北方領土対策について

12月1日（月）に予定されている北方領土返還要求中央アピール行動に伴うアピール行進の場所の変更及び政府要請行動の概要説明を受けました。

3 第7期中標津町総合計画後期基本計画について

パブリックコメントに寄せられた意見をもとに関連項目の修正をした内容の説明を受けました。

経済部

1 農業振興について（エゾシカ対策について・ヒグマ対応について）

本年度のエゾシカ有害駆除実績、ヒグマ対応の説明を受けました。

【主な質疑】

委員：緊急銃猟制度を運用するため、警察署・獣友会と連携した訓練の予定は？

また、制度を活用して実際に駆除できる体制となっていますか？

担当：具体的日程は警察署と協議中で警察署・獣友会との合同訓練を予定しています。

運用手順は共有済みで制度上は可能ですが、実例がなくスムーズとは断言できません。

委員：吹き矢を扱える職員は？

担当：町職員で対応できる者はいませんが、獣友会所属の獣医が吹き矢・麻酔対応のスキルを持っていると聞いています。

2 外国人財誘致推進事業について

将来的な人口増加が見込まれ、平均年齢が30歳未満と若年層が多いモンゴルを重点対象国として、令和7年10月4日から9日までの6日間、モンゴル・ウランバートル市でタウンプロモーションを実施したとの報告を受けました。

訪問団は、町長をはじめ町職員（C I R含む）、町内事業者、岩谷学園関係者など計10名で構成され、送出し機関や教育機関を対象に、中標津町および町の施策・町内事業者の取組・日本語学校・専門学校・関連グループ企業についてそれが説明を行い、42団体・52名が参加。説明後には質疑応答や意見交換、交流会を行い、開催後のアンケート調査では大変満足が26.3%、満足が55.3%と高い評価をいただき、参加者からは「モンゴルと気候が似ており農業が盛んな点等は協力しやすく、教育機関として学生を派遣するのに安心」「送出し機関として技能実習生を派遣したいと考えている」などの意見があったとのことです。

また、プロモーションとは別に、現地政府機関・教育機関・日本大使館など計5機関を訪問し、情報収集・意見交換を行ったとの説明を受けました。

【主な質疑】

委員：外国人財の受け入れ分野や事業選定理由は？

担当：中央アジア地域を戦略的地域として継続して取り組む方針です。

委員：介護人材としての受け入れの可能性は？

担当：介護に関してはインドネシア・フィリピン・ベトナムの3か国に比べると受入のハードルはやや高いですが、モンゴル国内で受験できる特定技能試験5分野（農業・介護・ビルクリーニング・運送・建設）があり、特に女性は農業・介護分野で日本を目指すケースが多いとの情報から、一定の受け入れの可能性はあると思います。

3 特定利用空港の指定について

空港所在自治体等の意見、道の対応方針の説明を受け、民生利用への影響防止・安全安心への配慮・予算措置等を国へ要請しつつ、同意に向けた手続きを進める方針で、令和8年3月末には国から指定追加の公表予定との説明を受けました。

建設水道部

1 災害（事故）発生時における現況調査について

11月1日に発生した暴風雨により、町内各所で道路施設・公園施設に被害が発生。冠水箇所3か所は昼12時頃より通行止めを行い、17時までには通行止めを解除。通行支障箇所の修繕は専決処分で対応、小規模補修は12月補正で繰越明許費を設定し春期対応予定との報告を受けました。

【主な質疑】

委員：冠水箇所とハザードマップとの整合性は？

担当：公開されているのは外水型（河川氾濫）中心で、今回は短時間降雨で落ち葉等により排水機能が低下したことが原因です。大雨前に側溝清掃などは実施していて、今後も防災と連携して対応します。

委員：倒木の撤去は？

担当：交通の支障となるものから優先して対応し、ほぼ撤去済です。正美公園などの倒木は順次対応しています。今後も管理区分に応じ適切に調整しながら進めます。